

平成28年4月21日
海事局 内航課
港湾局 海岸・防災課

熊本地震で被災した熊本港が復旧し、島原港へのフェリーが
4月22日（金）朝から運航再開

～被災地から対岸の島原半島経由で北部九州等への海上バイパス航路が1週間ぶりに再開～

平成28年熊本地震により、熊本港において、フェリーへ車が乗り込むために不可欠な可動橋や港へのアクセス道路等で大きな損傷が生じ、4月15日（金）から熊本港～島原港間のフェリーの運航ができない状況でした。

これを受け、国（国土交通省と港湾空港技術研究所）の調査団が緊急に損傷の調査を行い、この知見を踏まえ、国・熊本県が施設等の鋭意復旧を行い、1週間ぶりに、4月22日（金）朝から、同航路（九商フェリー株、熊本フェリー株）の運航が再開できることとなりました。

今回の再開により、長崎方面、福岡方面へのバイパスルートが確保されることになり、震災対応物資の輸送などの時間短縮や道路混雑の緩和が期待されます。

1. 復旧への経緯

- (1) 今回の震災を受け、フェリーへ車両が乗り込むための可動橋の不具合、フェリーターミナルへのアクセス道路でも段差が確認されました。
- (2) 4月16日、国（国土交通省と港湾空港技術研究所）の調査団が熊本港に入り、損傷した施設に関して緊急調査を行いました。
- (3) この知見を踏まえ、熊本県と九州地方整備局（港湾空港部）が連携し、4月20日までに復旧が完了しました。
- (4) 九州運輸局の航路運航に係る安全検査を終えて、今回の再開に至った次第です。

2. 再開後のサービス水準、効果等

- (1) 震災前と同様の水準にて運航が再開されます（16便/日、土日祝日は17便/日）。
- (2) 今回の再開により、長崎方面、福岡方面へのバイパスルートが確保されることになり、震災対応物資の輸送などの時間短縮や道路混雑の緩和が期待されます。

<問い合わせ先>

国土交通省 海事局 内航課 金子

TEL：03-5253-8111（内線43403）、直通：03-5253-8622、FAX：03-5253-1643

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 新村

TEL：03-5253-8111（内線46284）、直通：03-5253-8070、FAX：03-5253-1654

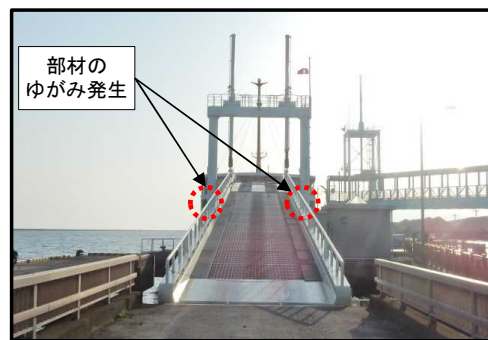
<参考>



熊本港及びフェリーターミナルの位置図

○可動橋の復旧状況

- ・ 部材のゆがみにより可動橋の上下動に不具合が発生。
- ・ 4月20日17時に復旧完了。



可動橋の部材のゆがみ発生箇所

○臨港道路の復旧状況

- ・ 4月20日17時に復旧完了。



臨港道路に生じた段差（左）と復旧状況（右）

○フェリー航路について



フェリーの航路図

○フェリー船の概要（各社のHPより）

■熊本フェリー



オーシャンアロー

- ・全長 : 72.09m
- ・航海速度: 30ノット
- ・旅客定員: 430名
- ・車両搭載: 乗用車51台
(または大型バス9台)

■九商フェリー



フェリーくまもと

- ・全長 : 52.71m
- ・航海速度: 14.0ノット
- ・旅客定員: 600名
- ・車両搭載: 普通乗用車30台
(またはバス10台)



フェリーあそ

- ・全長 : 49.96m
- ・航海速度: 13.8ノット
- ・旅客定員: 490名
- ・車両搭載: 普通乗用車30台
(またはバス8台)

